

笑顔～ライバルは昨日の自分！今日は何に挑戦する？

2 学年だより

2021/3/25
2 学年主任 藤巻 信一

2 年生終了！いよいよ 3 年生です！！

本日、3 月 25 日をもって、令和 2 年度 3 学期終業式を迎え、2 年生の教育課程が無事終了しました。振り返ってみますと、昨年度末に新型コロナウイルス感染症対策として、安部前総理大臣から臨時休業の要請が出され、始業式や入学式も実施されず、4 月・5 月はオンライン授業や分散登校といったことなどが、手探りの状況で行われました。また、各種大会の中止も発表され今後どのような方向に進んでいくのかもまったくわからない状況の中で、6 月に学校が通常再開されました。しかし、“通常”とはいっても制約が多く、“新しい生活様式”と呼ばれる行動があらゆる場面で求められてきました。また学校行事にも様々な影響があり、夏休みや冬休みの短縮、定期試験や学園祭の日程や内容の変更といったことなども行われました。特に 2 学年としては、高校生活最大のイベントともいえる修学旅行について、延期や方面変更も検討しましたが、2 回目の緊急事態宣言を受け、最終的には中止の判断をせざる負えない状況になってしまいました。まさに、新型コロナウイルス感染症に翻弄された 1 年となってしまいました。

我々だけでなく、日本中（世界中）の人々が、これまでに経験のない 1 年間を過ごしてきたわけですが、過去を振り返ってばかりはいられません。皆さん、1 週間後には 4 月を迎え、2 週間後には始業式を迎え、高校生活最後の年を迎えることとなります。最後の年とは言いまでも、3 月 1 日には卒業式を迎えるわけで、残り 11 か月余りの高校生活となります。心の準備だけでなく、頭や体の準備もできていますか？部活動では、最上級生として後輩を指導し引っ張っていく立場となります。勉強面では、普段の授業を大切にすることや、定期試験や模擬試験に真剣に取り組むだけでなく、嫌でも受験を意識した学習を始めなければなりません。また、生活面では、新入生や現 1 年生の模範となる行動が要求されます。ずっと言い続けてきていることですが、何事も準備が大切です。2 週間余りの春休みですが、1 日 1 日大切に過ごし、4 月 7 日の始業式を元気に笑顔で迎えていただきたいものです。

各種表彰について

本年度も、昨年度と同様に、皆さんの成果を、昨日の学年集会で表彰させていただきました。表彰内容は、SHR テスト英単語 32 名（対象：全クラス）・古文単語 30 名（対象：4 組以外）・数学 5 名（対象：4 組）、多読賞 3 名、修学旅行しおりデザイン入選（5 名）、1 力年皆勤 83 名でした。来年度も同様の表彰を考えていますので、1 つでも獲得できることを目標に頑張ってみてください。特に三力年皆勤については、唯一卒業式の中で呼名・表彰される大切な賞になります。2 年間皆勤の生徒には、来年度も 1 年間健康に過ごし、ぜひ 3 力年皆勤を目標に頑張ってもらいたいと思っています。

*令和3年度4月行事予定

| | |
|-------------------------------------|--------|
| 7日(水) 令和3年度1学期始業式・服装頭髪検査・環境美化 | *半日登校 |
| 8日(木) 入学式 | *家庭学習日 |
| 9日(金) 対面式・学年集会・スタディーサポート(国語・英語) | |
| *通常登校スタート!この日より昼食必要です! | |
| 12日(月) スタディーサポート(数学・学習リサーチ)・身体計測 | |
| 13日(火) 朝読書・平常授業スタート | |
| 14日(水) 進路希望調査・一斉委員会・部登録 | |
| 16日(金)・17日(土) 進研記述模試(希望者) | |
| 20日(火) PTA 評議委員会 | |
| 21日(水) 生徒対象奨学金説明会 | |
| 23日(金) 高校総体壮行会 | |
| 28日(水) 環境美化・安全点検 | |
| 29日(木) 昭和の日(生徒登校日) 公開授業・生徒総会・PTA 総会 | |
| 30日(金) 代休 | |

※4月30日(金)～5月5日(水)の6日間がGWとなり、休業日になります。

*修学旅行返金について

先日、生徒を通じて各家庭に修学旅行の返金のお知らせを配付しました。近畿日本ツーリストより、3月12日(金)以降に、各家庭指定口座に返金が行われたようです。一括振込か分割振込かで返金額が変わってきますので、確認がお済でない場合は、早目に確認をお願いします。また、不明な点等は、巨摩高校2学年職員にお問い合わせください。

(一括振込の場合…返金額 119,035 円、分割振込の場合…返金額 120,639 円になります。)

*「サクラサク」に思う。

「サクラサク」と聞いて皆さんはどんなことを感じたり、考えたり、思い出したりしますか? 実は、「サクラサク」という言葉は、様々な歌手やグループの曲のタイトルになっていたり、本や映画の題名にもなっていたりする言葉です。巨摩高校の敷地内の桜も、ここ最近咲き始めたと思っていたら、あっという間に満開に近い状態になってきました。雨や風に負けず、1日でも長く咲き続け、春のせわしない日常の中にも、穏やかな空間や瞬間を届けてもらいたいものです。

さて、この「サクラサク」は受験生にとっては、合格した時の常套句となっていますが、ご存じでしたか? 昔(1956年頃)、大学入試の結果が郵送されることで判明していたころ、遠隔地の受験生にとっては合否が判明するまでに時間的・心理的な負担が大きかったことから、受験生が大学近くにいる人物に番号を確認してもらい、電報で伝えてもらうようにしたことが由来とされています。(ちなみに発祥は早稲田大学とされているようです。)当時の電報は、カタカナ表記であり、合格の場合は「サクラサク」、不合格の場合は「サクラチル」がよく用いられ全国的に広まったそうです。昨年のコロナ禍の際に、9月入学が検討されましたが、そうすると受験シーズンも変わってしまい、合格の際には、「チューリップサク」や「アジサイサク」や「ヒマワリサク」が採用されていたのでしょうか…。なんとなく「サクラサク」がいいと思いませんか? 合格発表だけでなく、卒業式や離任式、入学式シーズンにはやっぱり「サクラ」がよく似合うと感じるのは、私だけでしょうか? 昨年は、お花見も思うようにできませんでしたが、今年は感染症対策をしたうえで、去年の分もじっくり桜を眺めてみたいと思う、今日この頃です。